

玉美さんの夢を叶える ヘルパー奮戦記

訪問介護事業所

金内 夏子 ・佐藤 まい ・齋藤 栄子

愛のメロディーを聞きながら・・・

・2017年4月23日 第1回 心の歌コンサート かたぐるまにて 開催
鶴岡市に嫁ぎ、家族、家庭を守り、順風満帆な生活を送っていた矢先
筋萎縮性側索硬化症という難病を発症した玉美さん。

病と闘いながらも愛する家族、大好きな鶴岡を想い、詩に託すようになって
いた。ぜひ歌にして、みんなに聞いてもらいたい。

担当ケアマネ五十嵐好さんとふれあいヘルパーで結束。

在宅生活での過ごし方

・8:00～10:00	訪問介護	二人対応	【援助内容】
・10:00～11:00	〃	一人対応	体調観察・体位交換・口腔ケア
・14:00～16:00	〃	二人対応	喀痰吸引(口腔内・気管カニューレ)
・18:00～19:00	〃	二人対応	胃ろうによる経管栄養
・23:00～23:00	〃 (夜勤帯)	二人対応	オムツ交換・整容・更衣介助
・2:00～2:30	〃	二人対応	洗髪・入浴準備・環境整備
・4:45～5:15	〃	二人対応	洗濯・掃除・チューブ洗浄

R1・11月現在

多職種合同の事前打ち合わせ

担当者会議開催 「コンサートへ向けて確認事項」

R1・10・24(木) ご自宅にて

出席者

ご本人・主介護者・担当ケアマネ・訪問看護ハローナース・
訪問リハビリ・訪問介護事業所

令和元年 加茂水族館にて コンサートをしたい！！

【実現に向けて 動き出す】

動機: 昨年夏ごろ 加茂水族館へ外出 浴衣着用

「加茂水族館でコンサートをしたい」と相談される。

希望: くらげドームの前でコンサートを行いたい。

当日、担当ヘルパーは、佐藤まいHHにお願いしたい。

取り組み: ヘルパーは、本人の心理的支援・相談援助を行うとともに他機関との連携を図る。

玉美さんは、伝の心を使用し、大津さん(作曲、歌手 名古屋市在中)

岡さん(伝の心 千葉県在中)と連絡のやり取りを行う。

闘病と闘いながら、作詞活動を行う。

本人の意思も強く、担当ケアマネに相談を行い、日時等、現実的に取り組みを行う。

訪問リハビリさんと車いす移乗の練習を開始 8・9・10月に1回ずつ

コンサート開催に向けて

【前日までの準備】

- ①当日のシュミレーション
- ②メイク・着替え・荷物確認
- ③会場内の確認
- ④緊急時の確認
- ⑤胃ろうの確認

【当日の確認】

- ①体調確認
- ②持ち物確認

令和元年10月26日(土)コンサート当日

-
- ・8:30～ 更衣介助予定だったが、本人しないと拒否する。
 - ・10:30～ マッサージの先生訪問される。ハローナースキャンセルする。
 - ・14:00～ 荷物準備確認・更衣介助
 - ・16:00～ ハローナース訪問 胃ろうをコンサート中に行いたいと要求あり
 - ・16:30～ コンサート対応ヘルパー訪問
 - ・17:30～ 加茂水族館到着 外は大嵐で、建物の中に入れない。ものすごいスコール！突風！暴風雨！ALS車から降りられない。
玉美さん、一瞬「断念」も頭をよぎる。
小雨になるのを待ち、本人に雨風があたらないようにブルーシートで覆いながら、加茂水族館正面玄関下の搬入口から中によりやく入る。
 - ・17:45～ 会場廊下にて 吸引・身だしなみを整える。文字盤を使用しながら、本人の確認を行い、仕度にとりかかる。

令和元年10月26日(土)コンサート当日

- ・18:00～ 無事 コンサート開演
前館長村上氏もおり、現館長奥泉氏と一緒に演奏される。
会場は満席 ハローナース職員・訪問入浴・訪問リハビリ理学療法士・山形からALS関係者・訪問介護事業所
- ・19:30～ 鶴岡市皆川市長より感動のお言葉を頂く。鶴岡市をPRしてくれたことに感謝のお言葉あり。記念に柿のピンバッチ贈呈。
笑顔あり 涙あり 感動のコンサート無事終了。
- ・20:00～ ALS車にて 自宅へ帰る。
- ・21:00～ 玉美さん 自分のベッド到着。ヘルパー無事任務修了。夜勤ヘルパーへ引き継ぐ。

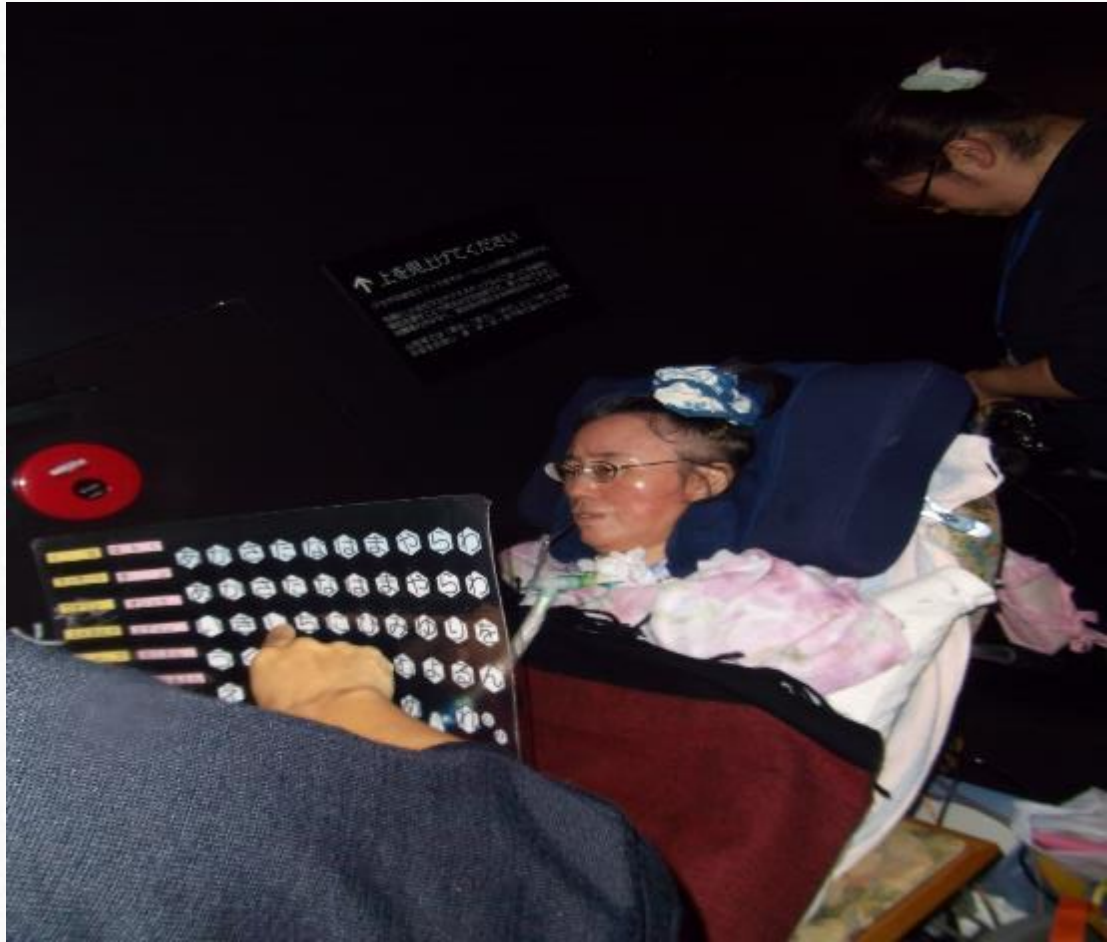
水族館に到着するなり、暴風雨！！ さて、どうする・・・



家族も応援に・・



開演5分前、何回も痰吸引し本番に備えます



ALS声なき詩人板垣玉美 第2回心の歌コンサート

第一部「家族への思い」

- ①愛のメロディーを聞きながら
- ②太陽とひまわり

第二部「クラゲへの思い」

- ①加茂水族館でクラゲが踊るw i h奥泉館長
- ②私は水クラゲになりたい

第三部「庄内・鶴岡への思い」

- ①あたし大好き庄内・鶴岡
- ②鶴岡だだちゃ豆
- ③温海かぶの鶴岡のお父さんのレシピ
- ④甘い甘い庄内柿

ラストソング「伝えたい言葉」

クラゲの大水槽の前でコンサートがスタート





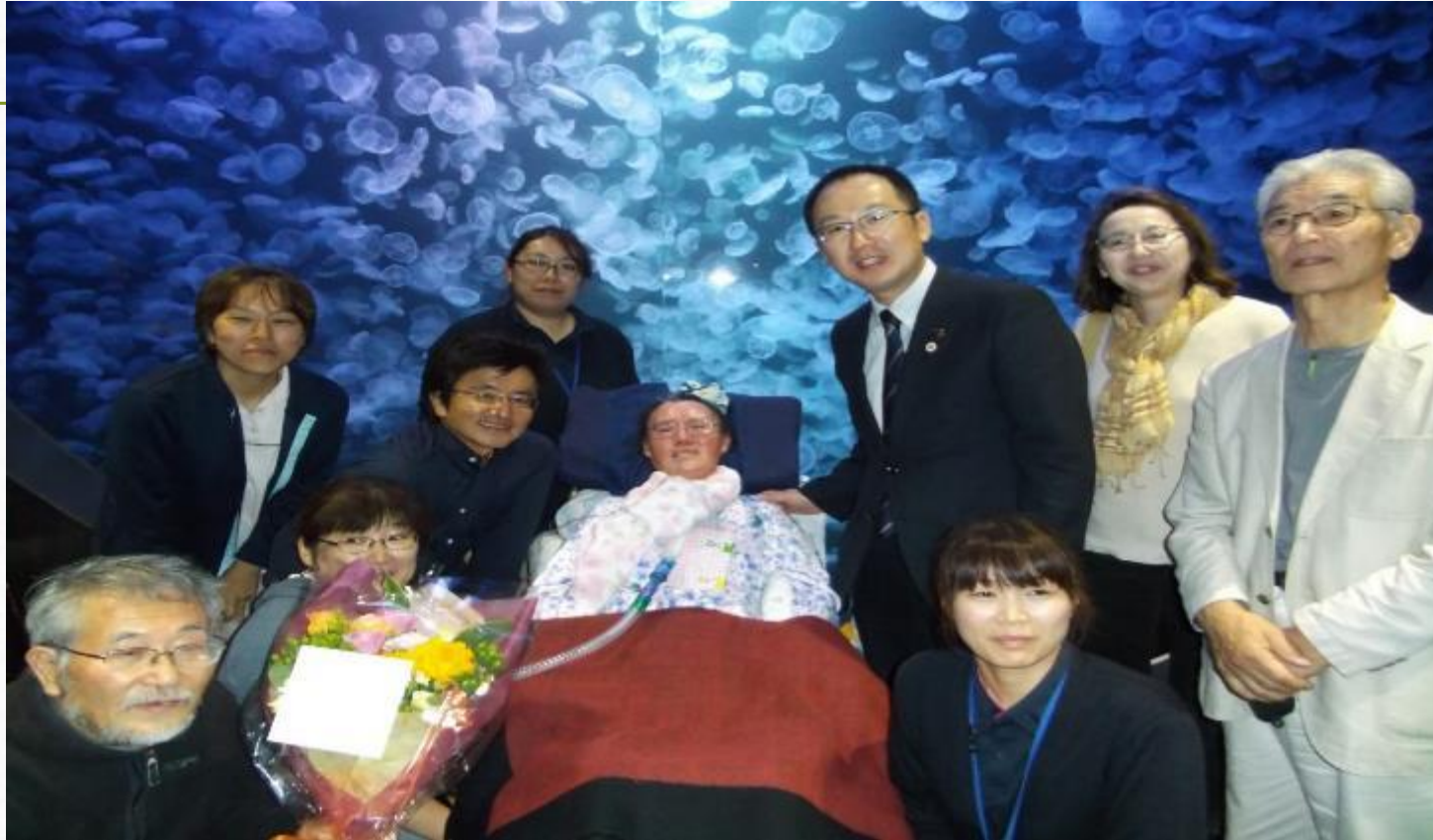
皆川市長に想いを込めて



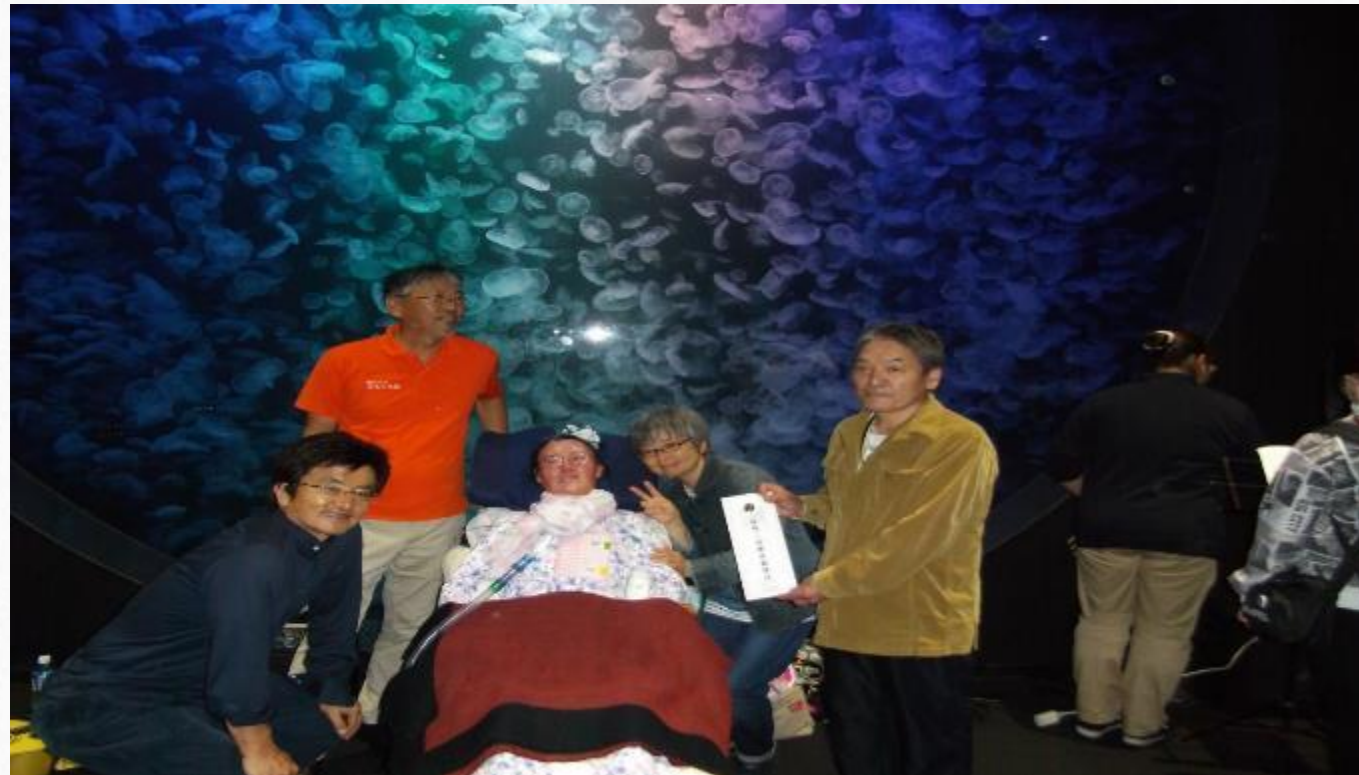




鶴岡市皆川市長とフォトグラフ



かたぐるま所長と一緒にハイチーズ



自宅に帰るまで、気を緩めず安全第一！



コンサートを無事終えて

- ・本人は、大満足！
- ・また3回目（山形大学農学部）のコンサートを行いたい。大津さんより。
- ・当日を迎えるまで、様々な人が携わり、検討し努力を重ね、何か月も前から準備を行い、玉美さんチームを結成。
- ・何事もなく無事終えられ良かった。本人の夢を叶えられてよかった。
- ・鶴岡親善大使 認定
- ・この日、関わったヘルパーは、総勢11名になりました。



ご清聴ありがとうございました

